

山口市男女共同参画センター

だより

平成24年1月号

発行:山口市男女共同参画センター
 編集:山口市男女共同参画ネットワーク広報委員会
 〒753-0074 山口市中央二丁目5番1号(山口市民会館事務所2階)
 TEL/FAX 083-934-2841 <http://www.y-djc.com/> [✉mw3kaku@c-able.ne.jp](mailto:mw3kaku@c-able.ne.jp)

国の動き

日本のジェンダー・ギャップ指数及びジェンダー不平等指数

1. ジェンダー・ギャップ指数

世界経済フォーラムは平成23年11月、「The Global Gender Gap Report 2011」において、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数（Gender Gap Index：GGI）を発表し、日本は135カ国中98位でした（前年は134カ国中94位）。本指数は、経済分野、教育分野、保健分野及び政治分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を意味しています。日本は、特に政治分野及び経済分野における男女の格差が大きいいため、このような低い順位になっています。

● 2011年ジェンダーギャップ指数

順位	国名	値
1	アイスランド	0.8530
2	ノルウェー	0.8404
3	フィンランド	0.8383
4	スウェーデン	0.8044
5	アイルランド	0.7830
6	ニュージーランド	0.7810
7	デンマーク	0.7778
8	フィリピン	0.7685
9	レソト	0.7666
10	スイス	0.7627
11	ドイツ	0.7590
⋮	⋮	⋮
16	英国	0.7462
17	米国	0.7412
18	カナダ	0.7407
⋮	⋮	⋮
43	ロシア	0.7037
⋮	⋮	⋮
48	フランス	0.7018
⋮	⋮	⋮
98	日本	0.6514

2. ジェンダー不平等指数

国連開発計画（UNDP）は平成23年11月、「人間開発報告書2011」において、昨年に続き、ジェンダー不平等指数（Gender Inequality Index：GII）を発表しました。本指数は、保健分野、エンパワーメント、労働市場の3つの側面から構成されており、国家の人間開発の達成が男女の不平等によってどの程度妨げられているかを明らかにするもので、日本は146カ国中14位でした（前年は138カ国中12位。順位が高いほど、人間開発が阻害される要因が少ない）。保健分野等日本が優れた分野が含まれている結果と考えられますが、男女共同参画において取組む課題は多いと考えられます。

● 2011年ジェンダー不平等指数

順位	国名	値
1	スウェーデン	0.049
2	オランダ	0.052
3	デンマーク	0.060
4	スイス	0.067
5	フィンランド	0.075
6	ノルウェー	0.075
7	ドイツ	0.085
8	シンガポール	0.086
9	アイスランド	0.099
10	フランス	0.106
11	韓国	0.111
12	ベルギー	0.114
13	スペイン	0.117
14	日本	0.123
⋮	⋮	⋮
47	米国	0.299

第3回

山口市男女共同参画

センターフェスティバル

第3回山口市男女共同参画センターフェスティバルは、平成23年11月23日(水・祝日)、昨日の天気とは違って変わり生憎の小雨のなか、約1,800人の方々をお迎えして山口市男女共同参画センター、山口市民会館大・小・展示ホール、中庭をフル活用しての開催となりました。

山口市男女共同参画センター内では、視聴覚室：センター登録団体活動発表(詩吟・コーラス等)、第1講座室：ワークショップ「もっと知りたい韓国文化」、第2講座室：ワークショップ「みんなが主役のまちづくり」を10:00～11:30の間で開催するとともに、ロビーでは「手相占い」も実施しました。

山口市民会館内では、大ホールにおいて「乙武洋匡氏の講演会」を開催するとともに、小ホールにおいてはワークショップ「家族でできる親子ふれあい体操」を実施し、展示ホールでは山口市男女共同参画ネットワーク団体会員、および、センター登録団体の活動紹介を行いました。また、中庭では各地区(小郡・阿東・徳地)女性団体連絡協議会のご協力による特産物の販売や、おにぎりや「鳴滝園」によるパンの販売も行うとともに、「ぜんさい」や山口商工会議所・山口市食生活推進協議会阿東支部関係者のご協力を得て「知っちょる鍋」の無料コーナー



も設置しました。

「お父さんと子どものファッションコンテスト」を開催しましたところ8組の父子・祖父孫の参加をいただき、皆さんには審査員から参加賞や豪華な賞品が授与され大変喜んでおられました。

併せて、国際交流を含めた楽器演奏のご協力をいただきました。

お陰様で、天気の間では気掛かりな一日とはなりましたが、大盛況のうちに開催されたことは個人や関係団体・ご参加いただきました皆様方のお陰と感謝しております。

乙武洋匡氏講演要旨

1998年、22歳の早稲田大学在学中に出版した『五体不満足』が多くの人々と数え切れないほどの出会いを果たさせてくれました。それも、私に刺激と愛情を与えてくれる素晴らしい出会いばかりで、確実に私を成長させてくれました。

出版後の私といえば、大学在学中の99年3月からの1年間、TBS系の『ニュースの森』でサブキャスターを務め、いじめ問題やバリアフリーについて取材、レポートをしました。

大学卒業後は、『ニュースの森』の仕事を通して、他人のメッセージを、私が媒介となって伝えていくという面白さに興味を覚え、「スポーツの素晴らしさを伝える仕事がしたい」との想いから、執筆活動を開始するとともに、スポーツライターとして、シドニー五輪やアテネ五輪、サッカー日韓共催W杯など、数々の大会を現地取材しました。

その後、新たな世界を目指して、明星大学の通信課程に学び、'07年2月に小学校教諭二種免許状を取得し、4月から10年3月までの3年間を杉並

区立杉並第四小学校教諭として勤務しました。教壇に立って困ったことは、板書(黒板に書くこと)は障害の為にできない



ことで、補助員をお願いしました。そのためには授業の前に、介助員と授業の内容を多大な時間を要して打合せをすることが必要で、二人の息が合うことが欠かせませんでした。

私がどんなクラスにしたかったのかというと、どんな子どもでも居心地のいい学校にしたかった。

例えば、金子みすずの詩で「私と小鳥と鈴」のなかで、『みんなちがって、みんないい』という文節がありますが、私はこの詩が大好きです。人は一人ひとり違います。それぞれの個性・特徴があります。勉強だけが出来るだけで人は重要視されるのでしょうか?それは違うと思います。みんなちがって、みんないいのです。



利用団体の作品展示



家庭でできる親子ふれあい体操



もっと知りたい韓国文化



しつちよる鍋は長蛇の列



お父さんと子どものファッションコンテスト



人気の手相コーナー



地元名産品のバザー



「en (えん) 楽団」の演奏



空いろ合唱団の合唱

講座報告

男介時代をみつめて —暮らしの中から一緒に考えてみませんか—

12月11日、当センターにおいて、福祉生活協同組合「さんコープ」理事長森本節子氏に、介護の現状と男性の介護についての取り組みをお聞きしました。

1. これからは、男性も介護は避けられません

・家族構成の変化、一人世帯の増加、未婚・離婚の増加などの理由により、日本の80%が在宅介護をしている中、男性も介護にせざるをえなくなります。

2. 介護サービスってすぐ使えないの

・健康保険とは違い、使えるのは介護認定を受けた人で、認定を受けてから最低一カ月はかかります。

3. 最近の介護で言われていること

・介護入所申し込んでも順番待ちで（山口市では1200人が待機）、家族がいると入所が困難となります。
・介護度の高い人や入院している人が申し込んでも、順番待ちをしているうちに亡くなり、最も介護が必要な時に受けられない実状です。また、施設利用には費用がかかります。
・買い物や調理困難な人には民間の給食サービスの利用を勧められます。
・認知症の場合は、身体的に動けると介護認定が低く査定され、家族の負担は大きくなります。

4. 現在、男性介護者 100万人

・介護を担う主体は、嫁が16%、夫婦世帯で夫が介護

をしているのは30%・息子は50%となっています。

5. 男性介護者が困っていること

・下着はどんなものを、どこで購入するのか、日用品の補充はどうすればいいのかわかりません。食事はスーパーやコンビニのお弁当が多く、同じ味に飽きて家庭の味が恋しくなります。
・介護期間が長期にわたるので、介護に追われて自由時間が持てない、仕事ができない、収入がなくなるなどの問題が生じます。
・愚痴や同じ話の繰り返しで我慢も限界となり、叱る・手荒く扱うことから人間関係が崩れて、ひいては虐待にまで発展する例もあります。
・介護する側・される側両者が辛い思いをします。・介護の負担が大きく、介護疲れや、ストレスがたまります。

6. 負担も大きい喜びもある介護にしましょう

・公的支援や地域包括センターを活用しましょう。
・なんでも話せる仲間・友だち・隣近所・地域との交流により悩みや苦しみを分かち合い身軽になりましょう。
・ショートステイ利用して自由な時間を作りリフレッシュしましょう。
・一人で頑張っているひとの労をねぎらう・褒めることで両者に笑顔を取りもどす。愛称で呼ぶことも一つの方法です。

日本女性会議・男女共同参画全国都市会議報告会

平成23年12月3日(土曜日)に参画センターにおいて、日本女性会議・男女共同参画全国都市会議参加者(山口市男女共同参画推進室・山口市男女共同参画ネットワーク)による報告会が開催されました。日本女性会議には1名、男女共同参画全国都市会議には4名が参加しました。

日本女性会議は松江で開催され、10月14日は10の分科会と交流会が、15日は内閣府基調報告、基調講演、シンポジウムが行われました。基調講演では登山家の田部井淳子氏が『エプロンはずして夢の山』と題して、女性としてエベレスト世界初登頂を果たした経験や夢を実現していくプロセスなどをお話しされました。分科会「ワーク・ライフ・バランスー雇用環境の変化から見えてきた課題と必要性を探るー」と題して、日本女子大学の沢真知子教

授による基調講演とパネルディスカッションが行われました。

男女共同参画都市会議は姫路で開催され、11月17日は内閣府基調報告、地元出身の小説家玉岡かおる氏による『播磨発・それが私の自分道』と題した基調講演、4つのテーマ「市民に愛されるセンター」「私が創るワーク・ライフ・バランス」「意思決定の場への女性の参画」「DV被害者にとって必要な支援とは」による分科会が開催されました。18日は分科会報告と京都大学伊藤公雄教授による総括講義『これからの男女共同参画』がありました。

それぞれの会議に参加して、男女共同参画社会の実現にはまだ道半ばだということを痛感し、さらなる推進啓発の必要性を認識するものとなりました。

山口市男女共同参画センター

今後の講座予定

私にもできる、簡単料理教室

2回シリーズ

平成24年2月5日、26日(日) 10:00~14:00

場所：カリエンテ山口

講師：藤原めぐみ氏、岡本カズエ氏

定員：山口市民 各回30名

参加費：200円

メニュー：「瓦そば・けんちん汁」
「魚アラカルト」

持参物：三角巾・マスク・エプロン

男女共同参画講座 全8回

第7回 平成24年2月18日(土曜日)

第8回 平成24年3月17日(土曜日)

13:30~15:30

講師：磯野恭子氏

場所：山口市男女共同参画センター 視聴覚室

参加費：無料(1回のみ受講可)

市長を困んで

平成24年2月25日(土) 13:30~15:00

場所：山口市男女共同参画センター

講師：渡辺純忠市長

参加費：無料

国際交流料理教室

平成24年3月上旬予定

内容：ロシア料理を予定しています。

申込方法(講座・託児)

電話・FAX・メールに氏名・住所・電話番号を
明記の上お申し込みください

全ての申し込み先・問い合わせ先

山口市男女共同参画センター

〒753-0074 山口市中央二丁目5番1号

(山口市民会館事務所2階)

TEL/FAX 083-934-2841

<http://www.y-djc.com/>

✉mw3kaku@c-able.ne.jp

おんなの目 おとこの目

みなさんあけましておめでとうございます。昨年の紅白歌合戦では7年ぶりに紅組が勝利しました。今の採点方法になって、白組の連勝が続いていましたが、雪辱しました。

今年は龍年です。「龍」といえば、昨年来日されたブータンのワンチュク国王の言葉がうかびます。龍を見たことがあると言う国王の言葉に驚く子どもたちに「龍は私達みんなの心の中に居て、経験を食べて成長します。心のなかにいる一人ひとりの龍を大切に育てて欲しい」という国王の言葉に被災地の方

けでなく、日本国民全員に感動と希望を与えて下さいました。

国王の来日に合わせ「国民総幸福量(GNH)」という言葉もマスコミで取り上げられるようになりました。男女共同参画の活動もこの考え方に通じるところがたくさんあります。今年はみんなが幸せになれる年になることを期待しています。(た)